

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4020	(H.24)No.	4020-3
-----------	------	-----------	--------

事務事業名 一般市道整備事業(用地対策室分)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	用地対策室	米山 賢	63-7952
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	393503
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	一般市道整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	一般市道整備事業	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施します。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>生活道路の整備を進め、快適な道路環境及び地域間の道路ネットワークの形成を図ります。</p>
--	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)							
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)					
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]							
	市道改良 137,327千円 ・改良工事(9路線) ・用地買収 A=349.63㎡ ・補償補填 N=1式 ・測量設計・公図訂正・道路残地草刈等委託 ・事務費(不動産鑑定手数料等) <平成22年度からの繰越明許費8,317千円>		市道改良(9路線のうち用地買収・補償3路線) 4,700千円 ・用地買収 A=50㎡ ・補償補填 N=1式 市道改良等委託料5,000千円 ・公図訂正・道路残地草刈等 土地開発基金買戻し 1,770千円 土地開発公社先行買収買戻し 15,390千円 事務費 2,640千円		<table border="1"> <tr><td>市が直接実施</td></tr> <tr><td>業務委託(全部・一部)により実施</td></tr> <tr><td>指定管理</td></tr> <tr><td>補助金・交付金</td></tr> <tr><td>その他 ()</td></tr> </table>			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
市が直接実施												
業務委託(全部・一部)により実施												
指定管理												
補助金・交付金												
その他 ()												
直接事業費	(8,317千円)	137,327千円	29,500千円	5,000千円	5,250千円	5,510千円						
財源内訳(千円)												
国庫支出金												
県支出金												
地方債	(8,300)	136,800	29,500	5,000	5,200	5,500						
その他()												
一般財源	(17)	527	0	0	50	10						
人工数												
職員	(2.20人)	2.20人	0.46人	0.46人	0.46人	0.46人						
臨時職員等												
概算人件費	(16,060千円)	16,060千円	3,358千円	3,358千円	3,358千円	3,358千円						
+ 総事業費	(24,377千円)	153,387千円	32,858千円	8,358千円	8,608千円	8,868千円						

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m	-	-	-	-	620
	実績		527	554	571	921	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.4	44.4	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
道路事業予算が年々減少している状況下、特に地域内生活道路等については部分的改良などが増えると予想される。限られた改良でより満足度を高めるため関係地域との協議を密にする必要がある。	引き続き既存道路の改良を推進するが、関係地域等との協議の元、より効果的な事業促進を目指す。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今後の人口減少・人口構成の高齢化などにより、地域内の生活道路に対する安全性の向上に関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	・地区内道路の整備推進と歩道の確保(蔵持) ・道路や水辺の環境整備(赤目) ・道路拡幅、改良(青蓮寺・百合が丘)
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	関係地域と具体的な内容についての協議
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
継続することで交通の利便性及び通行の安全性の確保を図っていく。

特記事項